

取扱説明書

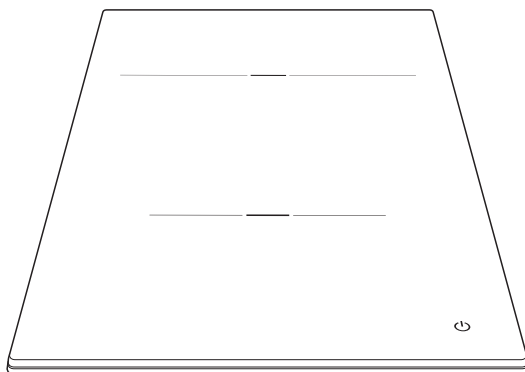
IH クッキングヒーター

家庭用

保証書付

型 式

RHKD321GM1T(A)



ご愛用の皆様へ

- このたびはリンナイ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、安全に正しくお使いください。
- この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。内容をご確認のうえ、大切に保管してください。
- この機器は家庭用ですので、業務用のような使いかたをされますと著しく寿命が短くなります。

- この機器は国内専用です。海外では使用できません。
- この取扱説明書の他に設置説明書があります。機器の移設・取り替え・修理の際に必要となりますので、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 取扱説明書を紛失した場合は、当社交換部品・お手入れ品などの販売サイト R.STYLE (<https://www.rinnai-style.jp/>) または、お買い上げの販売店にてお買い求めください。

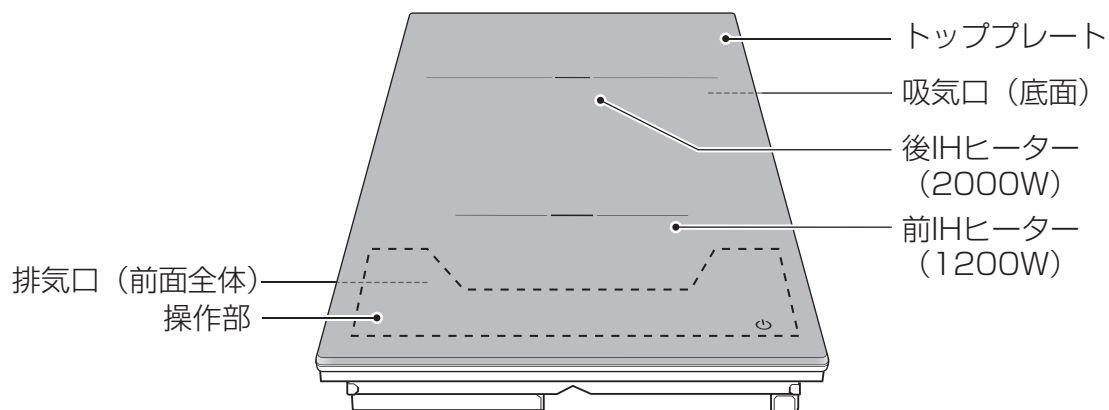


(工場管理)

JS0070-031×01(00)
240200
06000005226980

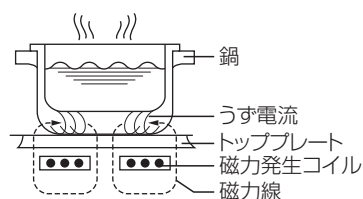
Rinnai

各部のなまえ

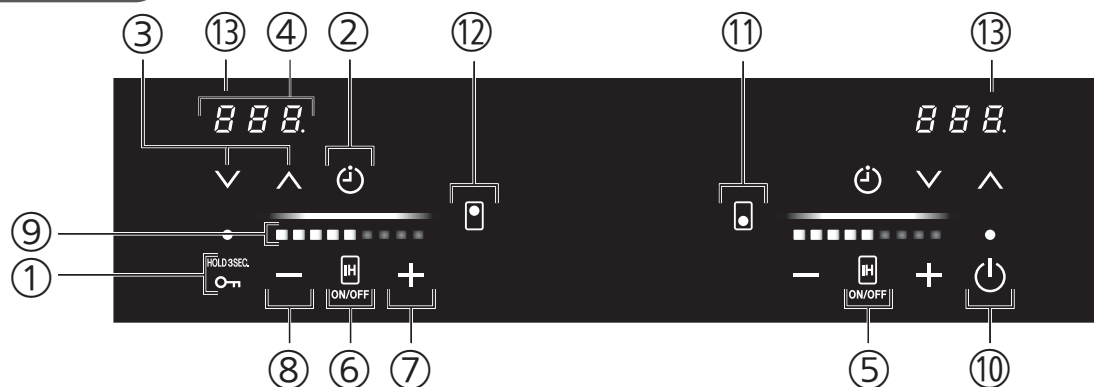


IH ヒーター（電磁誘導加熱方式）のしくみ

磁力線によって鍋に発生するうず電流が、鍋自体を発熱させます。



操作部



①	ロックスイッチ	電源スイッチとロックスイッチ以外の操作スイッチのロックを設定・解除するときに使用します。
②	タイマースイッチ	時間を設定するときに使用します。
③	タイマーセットスイッチ	1 ～ 120 分まで設定できます。
④	タイマー表示部	設定した時間が表示されます。トッププレートが熱い間は、高温注意表示をします。
⑤	前 IH ヒーター ON/OFF スイッチ	前 IH ヒーターの加熱を開始・停止するときに使用します。
⑥	後 IH ヒーター ON/OFF スイッチ	後 IH ヒーターの加熱を開始・停止するときに使用します。
⑦	加熱/火力アップスイッチ	加熱する、火力を強くするときに使用します。
⑧	火力ダウンスイッチ	火力を弱くするときに使用します。
⑨	火力表示ランプ	火力を表示します。
⑩	電源スイッチ	電源を入れる、切るときに使用します。
⑪	前 IH ヒーター表示ランプ	—
⑫	後 IH ヒーター表示ランプ	—
⑬	レンジフード連動赤外線発信部	—

ワンポイント



タッチスイッチ

各スイッチは、スイッチの中心を軽く指で触れるだけで操作できます。

もくじ

各部のなまえ	1
安全機能	3

安全なご利用のために

安全上のご注意	4
---------------	---

このIHクッキングヒーターについて

知っておいていただきたいこと ...	11
--------------------	----

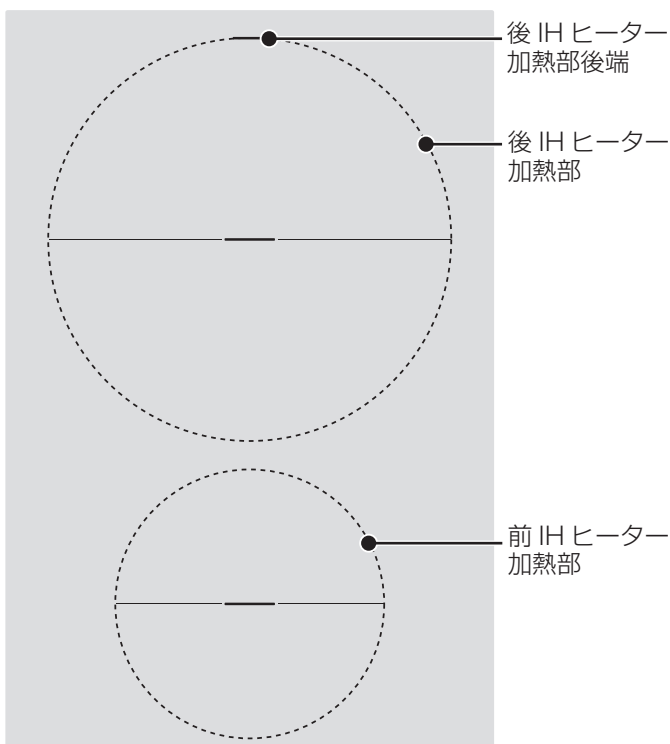
毎日の使いかた

基本の操作	13
魚・もちを焼く	17
タイマーを使う	19
各種設定の変更（カスタマイズ機能）…	21
レンジフード連動機能	23

長くご利用いただくために

お手入れのしかた	25
よくあるご質問（Q&A）	27
ブザーが鳴って、こんな表示が出たら…	29
別売品のご紹介	31
長期間使用しない場合／仕様	32
アフターサービス／廃棄するときは…	33
保証書	裏表紙

使用するときの鍋などの置きかた



※鍋などはIHヒーター加熱部の中央に置いてください。
また、IHヒーター加熱部からはみ出さないように置いてください。

安全機能

切り忘れ防止機能

加熱後、約 2 時間で自動で加熱を停止します。
切り忘れ防止機能の時間は、変更することができます。🔍 21 ページ
※タイマー設定中は、切り忘れ防止機能は、はたらきません。

高温自動温度調節機能

鍋底が高温になると、火力を自動で調節します。
センサー温度がさらに上昇した場合は、自動で加熱を停止します。

過熱防止機能

機器内部が過熱状態になると、火力を自動で調節します。
さらに機器内部が過熱すると、自動で加熱を停止します。

高温注意表示

トッププレートが熱い間は、タイマー表示部に「Hot」を表示します。
※加熱中およびタイマー設定中は、「Hot」は表示されません。
※電源スイッチを「切」にしても、トッププレートが熱い間は「Hot」表示が点灯します。
トッププレートが冷めると、自動で消灯します。

電源オートオフ機能

調理終了後、電源を切り忘れても、約 3 分後に自動で電源を切ります。
電源オートオフ機能の時間は、変更することができます。🔍 21 ページ

鍋なし自動停止機能

鍋などを置かないと加熱しません。加熱中に鍋などをはずすと火力表示ランプ（白）が 5 つ点灯し、タイマー表示部に「- - -」（赤）が点滅し、加熱を停止します。
再度、鍋などを戻すと加熱を再開します。

鍋などをはずした状態が約 30 秒続くと「ピピッ」と鳴り、約 1 分続くと加熱を停止します。

小物検知機能

スプーンやフォークなどの小物は加熱しません。

ロック機能

幼いお子様のいたずらや誤ってスイッチを押してしまうなどの誤操作も、作動しないようにロックすることができます。
ロックスイッチを 3 秒以上長押しすると、電源スイッチとロックスイッチ以外の操作スイッチがすべてロックされます。
電源スイッチを「切」にしても、ロックを解除するまでロック状態を記憶しています。
🔍 16 ページ

安全上のご注意（必ずお守りください）（使用編）

- お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。
- 以下に示す表示と意味をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 絵表示には次のような意味があります。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です



接触禁止



水ぬれ
禁止



分解禁止



ぬれ手禁止



この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です



この絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です



アースを
必ず接続する



警告

トッププレートについて



- 衝撃を加えない
- 上に乗らない

トッププレートにひびが入り、異常過熱や火災・感電・異常動作・けがの原因になります。万一ひびが入ったり、割れた場合は絶対に触らず、専用ブレーカーを切り、すぐにお買い上げの販売店または当社お客様センターにご相談ください。
※特にトッププレート端面には衝撃を加えないでください。ひびや欠けが入り、けがの原因になります。

- 無水調理用の鍋のふたなど、蒸気口のない気密性の高い鍋のふたを温まった状態のままトッププレートに置かない

ふたが密着して取れなくなったり、トッププレートが割れるおそれがあります。感電やけがの原因になります。

使用中は



- 機器から離れない
- 就寝・外出をしない

- 調理中のものが異常過熱し、火災の原因になります。特に天ぷら・揚げもの・炒めもの・焼きものをしているときは注意してください。
- 電話や来客の場合は、必ず電源を切り、鍋などをトッププレートからおろしてください。

⚠ 警告

トッププレートや近くに置いてはいけないもの



■爆発のおそれがあるもの

熱で缶内の圧力が上がり、爆発のおそれがあります。

- スプレー缶
- カセットコンロ用ボンベなど

■引火しやすいもの

火災の原因になります。

- スプレー・ガソリン・ベンジンなど

■燃えやすいもの

火災の原因になります。

- 機器の上方の調味料ラックなど
- 樹脂製品 (ペットボトル・プラスチック類など)
- 可燃物 (ふきんやタオル・調理油など)
- 電気製品

トッププレートの上には



■鍋・やかん・フライパンなどの使用する調理器具以外のものは置かない

誤って加熱された場合、破裂したり、赤熱して、やけどやけがの原因になります。

- 缶詰・湯たんぽ
- レトルトパック・アルミ製容器やパック (うどんなどが入った簡易容器)・内側にアルミはくを貼った紙パック・アルミはくなど
- 金属製小物 (スプーン・フォーク・ナイフ)・鍋のふたなど
- 市販の汚れ防止カバー (鍋などの下に敷いてトッププレートの汚れを防ぐもの) など
安全機能がはたらかず、発火するおそれがあります。

使用中・使用直後は



接触禁止

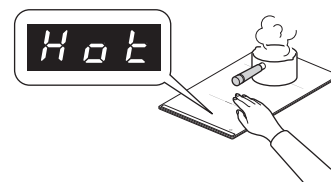
■トッププレートのタイマー表示部に高温注意表示「Hot」が点灯中は、トッププレートや鍋などに触れない

やけどのおそれがあります。

特にお子様がいらっしゃる家庭ではご注意ください。

高温注意表示は、トッププレート用です。

鍋などが高温の場合は点灯しませんので、注意してください。



水ぬれ
禁止

■水につけたり、水をかけない

吸・排気口に水が流れこまないようにして使用してください。

漏電やショートをおこし、感電や火災の原因になります。



■吸・排気口に指やピン・針金などの異物を入れない

けがや感電・故障の原因になります。



■外付けのタイマースイッチや装置による遠隔操作は行わない

タイマースイッチまたはスマートフォンやIT 機器を使ってスイッチを操作する

外付け装置は、安全性を確認できないので使用しないでください。

警告**炒めもの・焼きものをするときは**

■そばを離れない

■加熱し過ぎない

(予熱の火力は弱めにする。)

少量の調理油を使うため、油温が急激に上がり、発火・発煙のおそれがあります。

揚げものをするときは

■そばを離れない



■底が変形していない指定の鍋を置く

■揚げものは食材全体がつかるまで調理油（必ず 500ml 以上）を入れて行う

■調理油を予熱するときの火力は、後・前 IH ヒーターともに火力 7 以下にする

■子供など取り扱いに不慣れな方だけで使用させたり、乳幼児に触れさせたりしない
やけどや感電・けがなど、思わぬ事故の原因になります。**みそ汁やカレーなどを煮たり、温め直したりするとき**

■加熱前にお玉などでよくかき混ぜる

■加熱中は火力を弱めにし、かき混ぜながら温める

■沸とうしたら、飛び散らないように火力を弱める

水や調理物を加熱していると、突然沸とうして飛び散ることがあり、やけどやけがの原因になります。(突沸現象 ㊦ 8 ページ)

異常時は

■電源スイッチを押して電源を切り、専用ブレーカーを切る

下記のような場合は、すぐに使用を中止してください。

- 地震・火災
- 臭気・異常音を感じた
- 調理物が発火した
- 油煙が多く出た
- 焦げ臭いにおいがした
- 触れるとビリビリ電気を感じた

㊦ 27 ～ 30 ページを確認し、必要に応じてお買い上げの販売店または当社お客様センターにご連絡ください。

注意

■鍋などの下に何も敷かない

- ラップなどの樹脂類

敷物が溶けてトッププレートと鍋などに焼きついてくっつき、無理にはがすとトッププレート破損の原因になります。

- 紙・ふきんなどの可燃物

鍋などの熱で敷物が焦げる原因になります。

⚠ 注意



■調理以外に使用しない

暖房目的や衣類の乾燥などに使用しないでください。
火災や機器損傷の原因になります。



■操作部には次のようなことはしない

けがや機器損傷・誤動作の原因になります。

- 手をつく
- 調理器具（鍋・やかん・フライパンなど）を置く
- 熱い鍋やフライパンなどを置く
- 調味料や菜箸などのものを置く
- 水や洗剤をかける



■鍋底・トッププレートはいつもきれいにし、汚れや異物をつけたままにしない

鍋底・トッププレートに汚れや異物をつけたまま調理すると、加熱効率が悪くなるばかりでなく、火災の原因になります。



■吸・排気口をふさがない

機器内部の温度が上がり、安全機能がはたらき、加熱を停止します。



■空焼きしたり、加熱し過ぎたりしない

調理物が発火したり、鍋などが破損したりする原因になります。

ホーロー鍋は、空焼きしたり焦げつかせたりすると鍋底が過熱され、底面のホーローが溶けて焼きつき、鍋やトッププレートが破損・損傷する原因になります。

使用時や使用後は



■加熱・停止の確認をする

■必ず、電源を切る

切り忘れによる火災の原因になります。

長期間使用しない場合は、専用ブレーカーを切ってください。

ただし、調理終了後約 10 分間は機器の冷却のため、専用ブレーカーを切らないでください。



■油の飛び散りに注意する

やけどの原因になります。



■油煙が多く出たら、すぐに電源を切る

発火するおそれがあります。



■医療用ペースメーカーなどをお使いの方は、本機器のご使用にあたって医師と相談する

本機器の動作がペースメーカーに影響を与えることがあります。

⚠ 注意

機器の点検・お手入れ・まわりのお掃除の際は



■タイマー表示部の高温注意表示「Hot」が消えていることを確認する

調理後は高温のため触れると、やけどのおそれがあります。

■ロックをして、電源を切る 16 ページ

不用意な加熱を防ぎます。

■必ず、手袋をする

手袋をしないと、けがのおそれがあります。

お願い

- 雷が発生したときは、機器の使用を中止し、専用ブレーカーを切ってください。雷による一時的な過電流で、電子部品を損傷することがあります。専用ブレーカーを入れ直すときは、機器の上には何も置かず、5 秒程度機器に触れないでください。操作感度の低下やエラー (76) が表示されて操作できなくなるおそれがあります。
- トッププレートの上や近くで、IH ジャー炊飯器・卓上型 IH クッキングヒーターなど電磁誘導加熱の調理機器を使わないでください。磁力線により機器が故障する原因になります。
- 煮こぼれに注意し、火力を調節してください。
トッププレートに煮こぼれが焼きついたりして、機器を傷めるおそれがあります。
- 熱くなった鍋などを操作部やトッププレートのラベルの上に直接置かないでください。
機器故障・誤動作・変色・損傷の原因になります。
- 機器の放熱によって、キャビネット（機器の下部）の温度が上昇することがありますので、劣化しやすい調味料の保存は避け、調味料に記載の保存方法に従ってください。
- 鍋や、やかんの形状によってはふきこぼれたり、蒸気が勢いよく出るおそれがあるので、沸とうしたら火力を弱めてください。
- 害虫（ゴキブリ）などが機器内に侵入すると、故障の原因になります。
適切な環境下でご使用ください。
- 使用中は磁力線が出ているため、磁気に弱いものを近づけないでください。
 - ラジオ・テレビ・補聴器などの受信障害、雑音や音が小さくなる原因になります。
 - IC カード・キャッシュカード類などの記録が消えたり、壊れたりする原因になります。

突沸現象について

- カレー・ミートソースなどのとろみのある料理やみそ汁などを煮たり、温めたりするときは、突沸に注意してください。



突沸現象とは？

突然に沸とうする現象です。水・牛乳・豆乳・酒・みそ汁・コーヒーなどの液体を温めるときにささいなきっかけ（容器をゆする、塩・砂糖などを入れる）で生じます。
この現象が調理中に起きると、鍋などがはねあがったり、高温の液体が飛び散るため、やけどやけが・機器損傷のおそれがあります。

予防方法

- カレー・ミートソースなどのとろみのある料理やみそ汁などの汁物の温めは、弱火でかき混ぜながら加熱してください。（強火で急に加熱しない。）
- 熱い汁物に、塩・砂糖などの調味料を入れる場合は、少し冷ましてから行ってください。

警告



分解禁止

■機器の設置や移動・分解・修理・改造は絶対に行わない

感電・火災・けが・作動不良の原因になります。

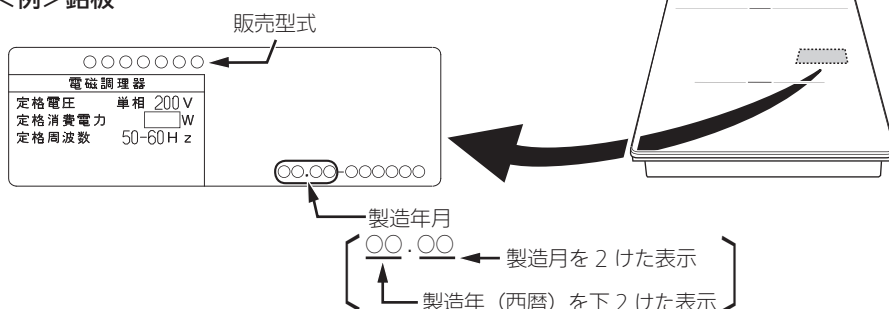
専門の技術・資格が必要です。機器の設置・移動・取りはずし・買い替えの際には必ずお買い上げの販売店または施工店にご連絡ください。



■使用電源が、銘板に表示してある電源（電圧・周波数）と一致していることを確認する

- 使用電源の電圧・周波数と一致していない場合、そのまま使用すると火災や感電の原因になります。また、故障の原因にもなります。
- 銘板は本体底面に貼ってあります。

<例>銘板



電源（電圧・周波数）は「仕様」32ページをご確認ください。



■可燃物との距離を確実に離す

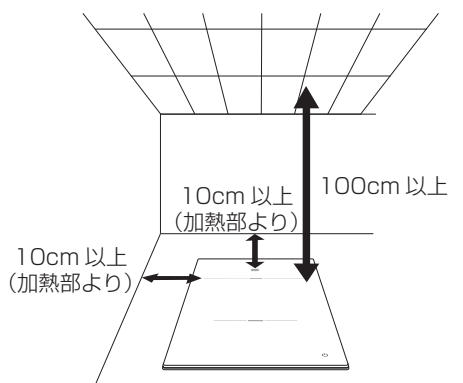
火災予防条例で定められていますので、必ず守ってください。距離が近いと火災の原因になります。

以下の場合、必ず別売の防熱板を取り付けてください。

- 可燃性の壁（ステンレスやタイルを貼った可燃性の壁も含む）との距離を右図のようにとれない場合

防熱板はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

■設置後、機器の周辺を改装する場合も可燃物との距離を確実に離す



(可燃性の壁の場合)

防熱板

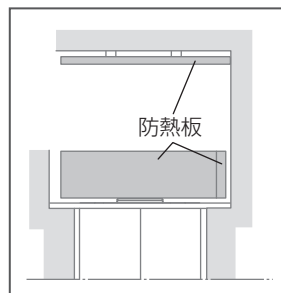
- 右図のように取り付けて使用してください。

型番：RB-55S2……側壁用

RB-60B2……後壁用

RB-90T ……天井用

- 詳しくは設置説明書をご覧ください。



警告

アースは



アースを
必ず接続する

■確実に取り付ける

- 故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
- アースの取り付けは、お買い上げの販売店にご相談ください。

電源コード・電源プラグは



ぬれ手禁止

■ぬれた手で抜き差ししない

感電やけがをすることがあります。



■切断して延長しない

機器の設置は、電源コードがコンセントに届く範囲としてください。
感電や火災などの原因になります。

■傷んだ電源コードや電源プラグ、差し込みがゆるい コンセントは使用しない

感電や火災の原因になります。

■傷んだ電源コードは自分で交換しない

専門の技術・資格が必要です。必ずお買い上げの販売店または
当社お客様センターにご連絡ください。

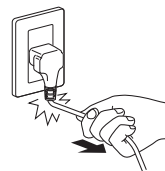
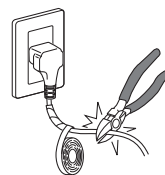
■電源コードを持って引き抜かない

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、電源プラグを持って
抜いてください。電源コードを引っ張ると、電源コードが破損し、感電・
ショート・火災や機器故障の原因になります。

■傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、 引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない

■重いものを載せたり、はさみ込んだりしない

電源コードが破損したり、電源プラグが抜けかかり、火災や感電の
原因になります。



■電源プラグの根元までしっかりコンセントに差し込む

■電源プラグは定格 250V 20A の単独のコンセントに接続する

誤った接続をすると、感電や火災の原因になります。

■電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く

電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。電源プラグにほこりがたまると、
湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

知っておいていただきたいこと

使える鍋／使えない鍋

一般財団法人「製品安全協会」が認証した SG マーク ( ) のある鍋のご使用をおすすめします。

	○ 使える鍋	× 使えない鍋
材 質	<p>■鉄・鉄鋳物</p>  <p>■鉄ホーロー</p>  <p>●ホーロー鍋は、空焼きしたり、焦げつかせないようにしてください。(底面のホーローが溶けて焼きつき、トッププレートに損傷することがあります。)</p> <p>■ステンレス (18-0・18-8・18-10)</p>  <p>次のステンレス鍋にはご注意ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●18-8・18-10 ステンレス鍋 厚さが0.8mm以上の鍋は、「使える鍋」として見分けますが、火力が弱くなったり、使えないものがあります。 ●多層鍋 種類によっては、火力が弱くなったり、使えないものがあります。 	<p>■耐熱ガラス</p>  <p>■銅</p>  <p>■陶磁器 (土鍋など)</p>  <p>●市販されている土鍋で「IH 用」と表示があっても使わないでください。(故障したり、火力が弱くなり、調理ができない場合があります。)</p> <p>■アルミ</p> 
形 状	<p>●底が平らで、トッププレートに密着する底の直径が12～24cmのもの。</p>  <p>底の直径</p> <p>後 IH ヒーター：16～24cm 前 IH ヒーター：12～16cm</p>	<p>●鍋の底に銅やアルミが貼ってあるもの。</p> <p>●底の直径が12cm未満のもの。</p> <p>●底の丸いもの。(中華鍋など)</p>  <p>●底面にホーロー加工された魚焼器は使えません。底面のホーローが溶けて焼きつき、トッププレートが損傷します。</p> <p>●底に約2mm以上の反りや脚が付いているもの。底に反りのあるものは、鍋から音が発生しやすくなります。</p>  <p>約2mm以上</p>

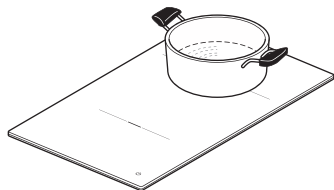
ワンポイント

- 底が薄い鍋は、底が変形することがあります。弱めの火力で使用してください。
- 底が薄い鍋や底が変形して反っている鍋は、強火で予熱すると赤熱する場合があります。
- 「IH 用鍋」と表示されていても SG マークがない鍋は、大きさ・材質によっては加熱できない場合があります。

使える鍋の見分けかた

下図は後IHヒーターでの見分けかたです。前IHヒーターでも、同じように見分けることができます。

- 1 コップ1杯程度の水を入れた鍋を
後IHヒーターの中央に置く



- 2 電源スイッチを押す（1秒以上）

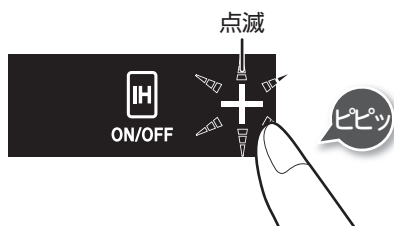
電源スイッチのランプが
点灯します。



- 3 後IHヒーターの [IH ON/OFF] スwitchを押す



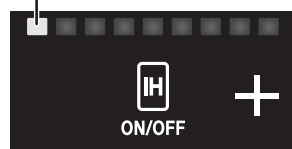
- 4 後IHヒーターの [+] スwitchを押す



＜使える鍋＞

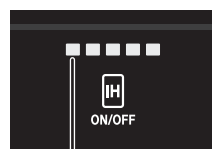
火力表示ランプ（赤）が1つ点灯し、加熱されます。

点灯（赤）

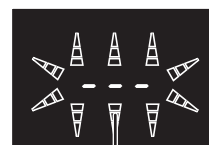


＜使えない鍋＞

火力表示ランプ（白）が5つ点灯し、タイマー表示
部に「- - -」（赤）が点滅します。



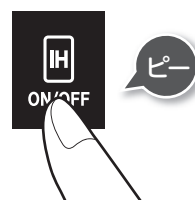
点灯



点滅（赤）

- 5 後IHヒーターの [IH ON/OFF] スwitchを押す

加熱を停止します。



- 6 電源スイッチを押す（1秒以上）

電源スイッチのランプが
消灯します。



知
っ
て
お
い
て
い
た
だ
き
た
い
こ
と

準備

お願い

- スイッチの上に煮こぼれ・水・洗剤・ものなどがのっていると、スイッチが正常に作動しません。
すべて取り除いて使用してください。



ロックが解除されているか、確認する。

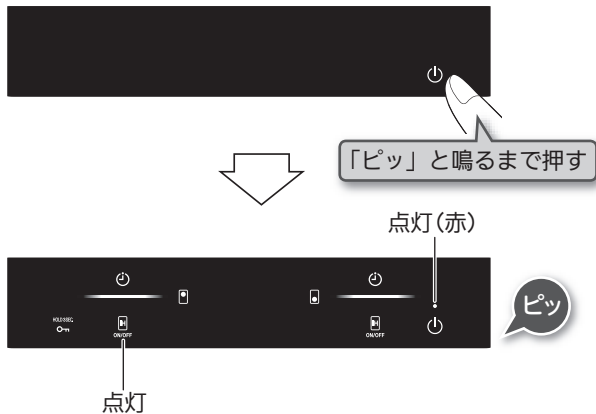
「不用意な加熱を防ぐには(ロック)」

16 ページをご覧ください。

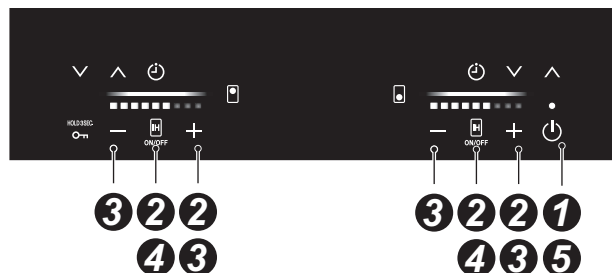
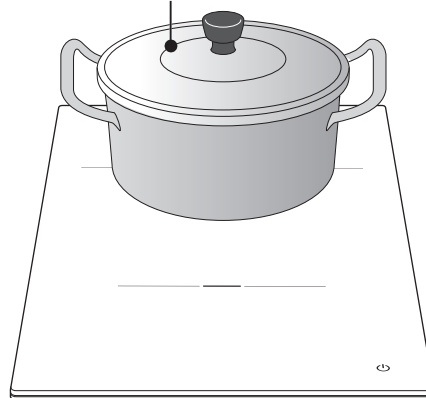
※図は後 IH ヒーターで説明しています。
前 IH ヒーターも操作方法は同じです。

1 電源を入れる

電源スイッチを押す。(1 秒以上)
電源スイッチのランプが点灯します。

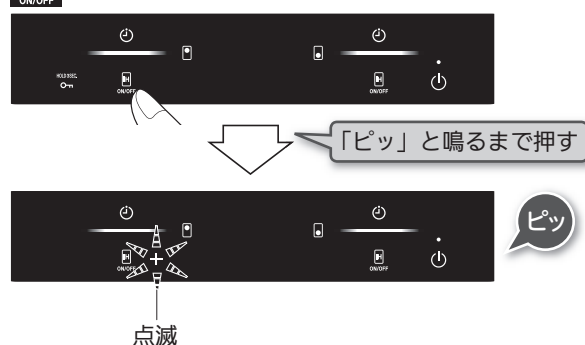


IH ヒーターの中央に鍋などを置く

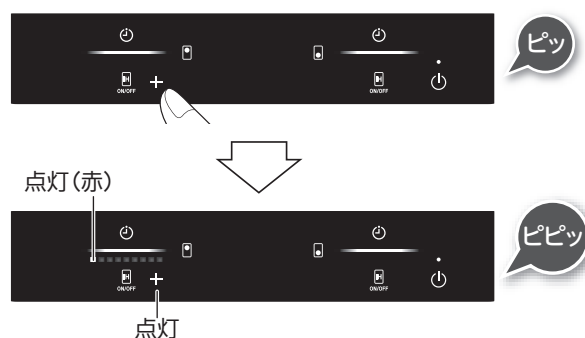


2 加熱する

電源スイッチを押す。



+ スイッチを押す。



お願い

- **電源スイッチ** を押し続けた場合、**+** スイッチの表示が消灯し、加熱できなくなります。
- **+** スイッチが表示されたら、すぐに手を離してください。
- **+** スイッチの表示が点滅した後、10 秒以内に加熱操作をしないと、**+** スイッチの表示が消灯し、加熱できなくなります。加熱を続けるには、もう一度 **電源スイッチ** を押してください。

お知らせ

- ブースター機能を設定すると、**+** スイッチが消灯します。
- また、火力 1 になると、**-** スイッチが消灯します。

ワンポイント

ブースター機能

早くお湯をわかしたいときに使用します。

- 火力 9 の状態で、さらに **+** スイッチを 1 秒間押すと一時的に火力が強くなります。



- ブースター機能を解除するときは、**-** スイッチを押すと火力 9 になります。
- 約 10 分間経過すると自動的に火力 9 になります。
(鍋などの状態や水量によっては、ブースター機能が途中で解除する場合があります。)
- 湯わかし以外は使わないでください。
- ブースター機能を設定中に片方の IH ヒーターを使用するとブースター機能が解除され、火力 9 になります。
- 機器が熱い状態のときは、ブースター機能に設定できない場合があります。

③ 火力を調節する

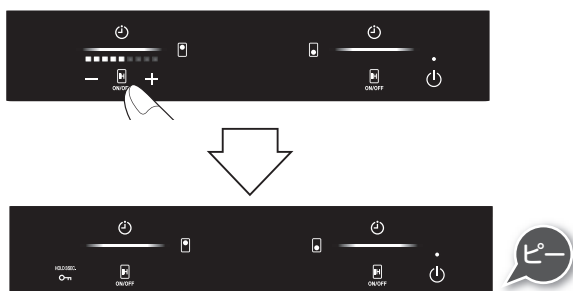
+ / **-** スイッチを押す。
火力 1 から火力 9 まで調節できます。



押すたびに、火力表示ランプの赤色点灯が増加・減少します。
押し続けると、連続で増加・減少します。

④ 停止する

IH ON/OFF スイッチを押す。

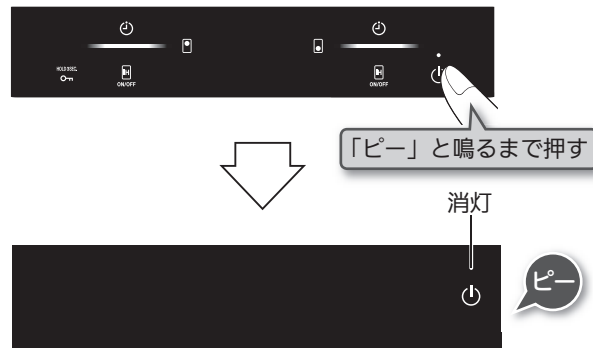


お願い

- 必ず、加熱が停止したことを確認してください。

⑤ 電源を切る

電源 スイッチを押す。(1 秒以上)
電源スイッチのランプが消灯します。



お願い

- 使用後は、必ず**電源**スイッチを押して電源を切ってください。
鍋なし自動停止機能などの安全機能で停止したままにしないでください。

基本の操作(使いかた)

火力調節の目安

- 材料・量・鍋などの形状により、加熱状態が異なります。様子を見ながら火力を調節してください。
- フライパンなどは、底の厚いものを使用した方が変形しにくく、温度むらが少ないので焦げにくくなります。
- フライパンなどを予熱するときの火力は、後IHヒーターは火力7以下、前IHヒーターは火力8以下にしてください。
- 揚げものの調理の油を予熱するときの火力は、後・前IHヒーターともに火力7以下にしてください。
- ブースターは火力が強いので、湯わかし以外には使わないでください。

〈後IHヒーター〉

火 力	1	2	3	4	5	6	7	8	9	ブースター
消費電力(約)	100W	200W	300W	400W	500W	700W	1000W	1500W	2000W	2500W
炒 め る						←	→			
焼 く					←	→		焼き色を付ける	→	
蒸 す					←	→			湯わかし	→
ゆ で る					←	→			湯わかし	→
煮 る		←	煮込む	→	←	煮る	→	煮立てる	→	
温 め る	←			→						
揚 げ る					←	→				


〈前IHヒーター〉

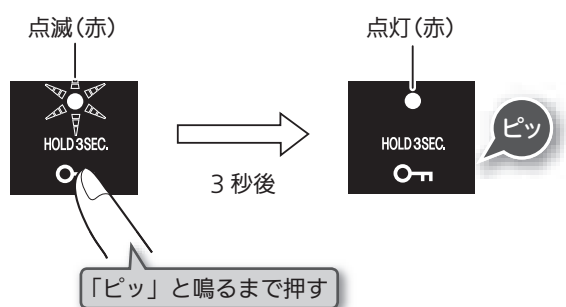
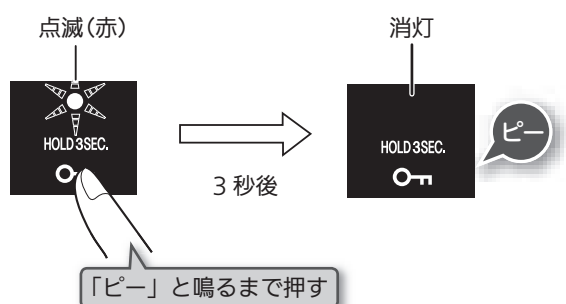
火 力	1	2	3	4	5	6	7	8	9	ブースター
消費電力(約)	100W	200W	300W	400W	500W	600W	800W	1000W	1200W	1500W
炒 め る							←	→		
焼 く						←	→			
蒸 す				←	→				湯わかし	→
ゆ で る				←	→				湯わかし	→
煮 る		←	煮込む	→	←	煮る	→	煮立てる	→	
温 め る	←			→						
揚 げ る					←	→				

ワンポイント**不用意な加熱を防ぐには(ロック)**

幼いお子様のいたずらや誤操作を防ぐため、電源スイッチとロックスイッチ以外の操作スイッチをロックすることができます。

電源を入れ、停止していることを確認してください。

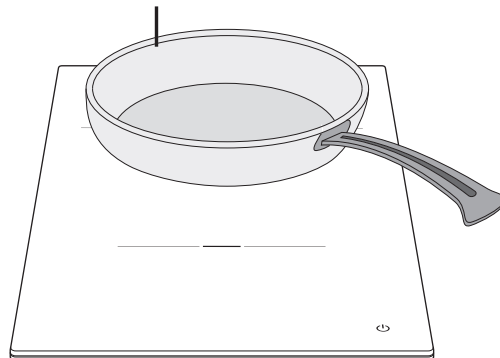
※スイッチを「切」にしても、ロックを解除するまでロック状態を記憶しています。

ロックを設定するとき**ロックを解除するとき**

ワンポイント

- 後IHヒーターで火力を調節しながらお使いください。

後IHヒーターの中央に
フライパンなどを置く



魚の焼きかた

＜塩焼き＞さんま 2 匹（1 匹あたり 150g 程度）の場合
あじ 2 匹（1 匹あたり 150g 程度）の場合

① 魚の下ごしらえをする

- 冷凍の魚：しっかりと解凍してください。冷凍のまま焼くと焼き色が薄かったり、中まで火が通らないことがあります。
- 生 魚：あじは下処理をし、さんまもお好みで内臓部分を取っておきます。その後水洗いし、水気をよくふき取ります。

② 塩焼きの下ごしらえをする

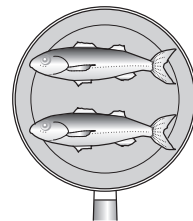
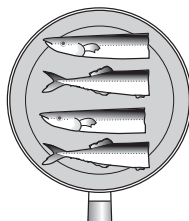
さんまは半分に切ります。
両面に塩をふり、約 10 分おきます。
出てきた水分をふき取ります。

ワンポイント

- 魚の重量の約 2% 程度の塩をつけます。身の厚いところには厚く、薄いところには薄くつけます。
- ふたがない場合は、表記してある時間より 2～3 分程度長くなります。また、煙が多く出るので、煙感知式の火災警報器が作動する場合があります。
- フライパンの種類によっては、焼き色が強く付く場合がありますので、焼け具合を見ながら火力を調節してください。
- 魚の焼け具合は必ずしも一定ではなく、大きさ・脂ののりかた・鮮度・保存状態によって、焼き色が薄くなったり、濃くなったりすることがあります。

③ 焼く

フッ素コート加工を施した直径 24cm 程度の IH 用フライパンを用意します。
火力 6 以下で 1 分程度予熱をします。
ペーパーで調理油を薄くのばし、魚を並べ、ふたをして焼きます。
盛り付けたときに、表になる面が下になるようにします。
火力 6 程度にして、魚の焼け具合を見ながら火力を調節します。



焼き時間の目安

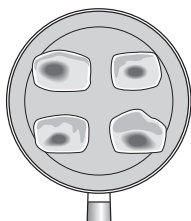
さんま 表：4～5 分、裏：4～6 分
あじ 表：8～9 分、裏：4～6 分
※焼き色が付いたら、裏返します。
ふたをしてさらに焼きます。

もちの焼きかた

＜焼もち＞切りもち（4個）
1個：約50g（65×40×15mm）の場合

① 焼く

フッ素コート加工を施した直径24cm程度のIH用フライパンに、もちを4個並べます。
ふたをして様子を見ながら、両面を焼きます。
火力6程度にして、もちの焼け具合を見ながら火力を調節します。



焼き時間の目安

表：7～9分、裏：2～4分

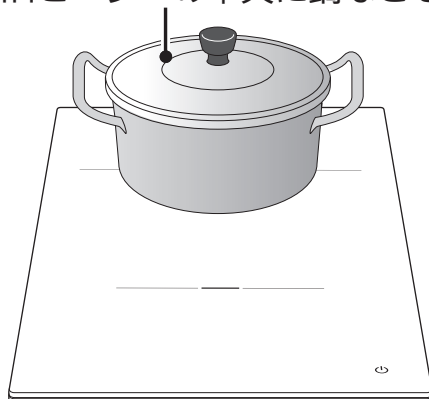
ワンポイント

- ふたがない場合は、表記してある時間より1～2分程度長くなります。
- ふたをすると膨らみやすくなり、もち同士がくっつく場合がありますので、ときどき位置を変えながら調理してください。
- フライパンの種類によっては、焼き色が強く付く場合がありますので、焼け具合を見ながら火力を調節してください。
- もちの種類によって、焼き色が薄くなったり、濃くなったりすることがあります。

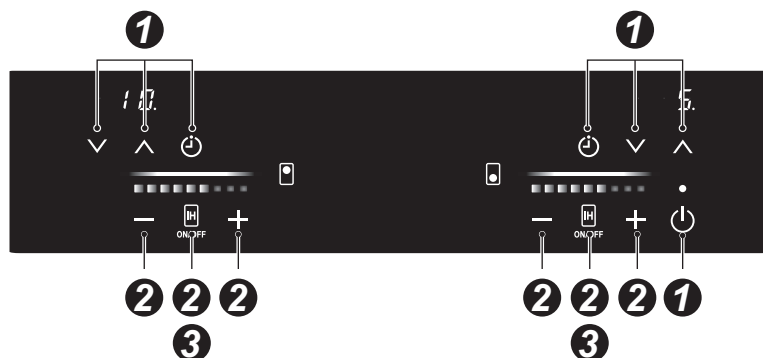
タイマーを使う

- 設定時間になるとお知らせし、自動で加熱を停止します。
- めんをゆでたり、あともう少し煮込みたいときの切り忘れ防止に便利です。

IHヒーターの中央に鍋などを置く



※図は後 IH ヒーターで説明しています。前 IH ヒーターも操作方法は同じです。



1 電源を入れ、時間を設定する

基本の操作(使いかた)①を行う。➡ 13 ページ

⏻ スイッチを押す。

最初は「1」（1分）が表示されます。

点灯(赤)



ピッ

▽ / **△** スイッチを押し、時間を設定する。

点灯(赤)



ピッ

1 ～ 120 分まで1分刻みで設定できます。
押し続けると、30 分までは5分刻み、30 分以降は 10 分刻みで設定できます。

お知らせ

- 加熱後もタイマーを設定できます。
- 設定時間は、調理中でも変更できます。
- 取り消すときは、もう一度 **⏻** スイッチを押します。
- タイマー設定中は、切り忘れ防止機能は、はたらきません。

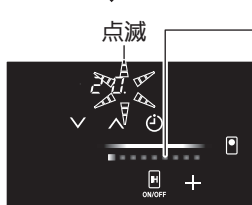
2 加熱し、火力を調節する



スイッチを押して、



スイッチを押す。



点滅

点灯(赤)

ピピッ

加熱するとドットが点滅し、自動でタイマーがスタートします。



スイッチを押す。



ピッ

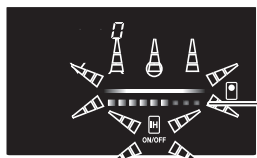
③ 消灯する

設定時間の 30 秒前になると、ブザーでお知らせ

分から秒表示に変わる



設定時間になると、ブザーでお知らせ
自動で加熱を停止します。



点滅 (赤)

点滅 (白)



スイッチを押す。



消灯



お知らせ

- スイッチを押さないときは、電源オートオフ機能がはたらくまで、火力表示ランプ・ スイッチは点滅、タイマー表示部は点灯します。

以下の機能の設定を変更することができます

	表示部	機能	内容	設定項目
※1	01	電源オートオフ時間	電源オートオフの時間を設定できます。	1 ～ 25 (分) (1 分刻み) 3 (分) : (初期設定)
	02	切り忘れ防止時間	切り忘れ防止機能の時間を設定できます。	30 ～ 120 (分) (10 分刻み) 120 (分) : (初期設定)
	03	レンジフード連動機能	レンジフードを IH クッキングヒーターと連動させる機能を設定できます。	on : 設定する (初期設定) off : 設定しない
※2	04	レンジフード風量切替	レンジフードの風量を自動で切り替える機能を設定できます。	on : 設定する off : 設定しない (初期設定)
	05	オールリセット	設定変更 (カスタマイズ) したすべての設定を初期設定に戻します。	「888」が表示されるまで、前 IH ヒーターの ▲ スイッチを 3 秒間押し続ける。
※3	06	最新エラー履歴	最新のエラーを確認できます。	検出箇所の IH ヒーター表示ランプと前 IH ヒーターのタイマー表示部にエラー数字を表示。

※1 前 IH ヒーター・後 IH ヒーター同時に設定が変更されます。IH ヒーターごとには設定できません。

※2 レンジフード連動機能が off の場合、表示されません。

※3 エラー数字に「-」が表示されたときは、エラーの履歴はありません。

設定のしかた

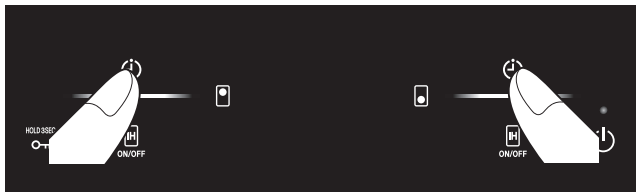
1 電源を入れる

🔌 スイッチを押す。



2 各種設定を変更する

前・後 IH ヒーターの 🔌 スイッチをブザーが鳴るまで、3 秒以上同時に押す。
電源を入れてから 15 秒以内に行ってください。



3 設定変更する機能を選ぶ

後 IH ヒーターの ▼/▲ スイッチを押す。

- ▲ スイッチ…02、03、04…と表示部の数が増えます。
- ▼ スイッチ…06、05、04…と表示部の数が減ります。



4 設定項目を変更する

前 IH ヒーターの ▼/▲ スイッチを押す。



各種設定項目は、左のページの表を参照してください。

5 各種設定の変更を完了する

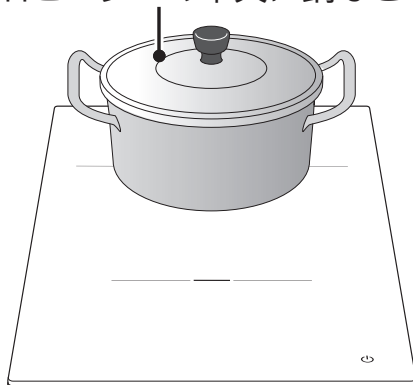
🔌 スイッチを押して、電源を切る。

レンジフード連動機能

加熱・停止に合わせ、自動でレンジフードの運転・停止を行います。

※購入時は、レンジフード風量切替が「設定しない」になっています。使用する場合は、各種設定の変更 21・22 ページにより、レンジフード風量切替を「設定する」に変更後、お使いください。

IHヒーターの中央に鍋などを置く



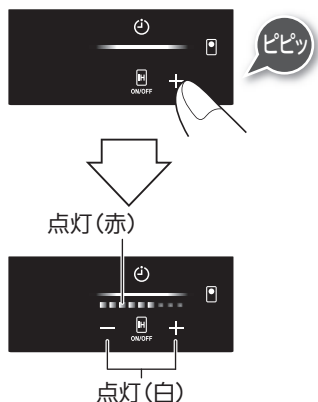
※図は後 IH ヒーターで説明しています。前 IH ヒーターも操作方法は同じです。



自動運転のしかた

1 加熱する

[IH ON/OFF] スイッチを押して、**+** スイッチを押す。
自動でレンジフードの運転が開始します。
最初は「中」の風量で運転します。
レンジフード風量切替を「設定する」にした場合、その後、自動で調節します。

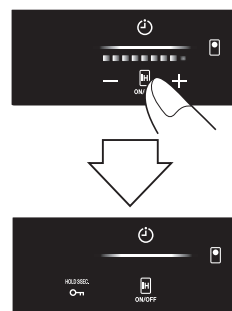


お知らせ

- 既に他の IH ヒーターを使用している場合は、火力によって風量を自動で調節します。
- レンジフード風量切替を「設定しない」にすると、「中」の風量のみでの運転となります。 21・22 ページ

2 停止する

[IH ON/OFF] スイッチを押す。
レンジフード設定の停止タイマー終了後に、
自動でレンジフードの運転は停止します。



お知らせ

- 加熱を停止しても、他の IH ヒーターを使用中は停止しません。
すべての IH ヒーターを停止したとき、レンジフードが停止します。
- 自動で加熱が停止した場合（切り忘れ防止機能・高温自動温度調節機能作動時など）、レンジフードは自動で停止しません。
レンジフード側の運転スイッチを押して停止してください。

お願い

- 対応しているレンジフードとの組み合わせが必要です。
指定外のレンジフードでは連動しません。お問い合わせは、お買い上げの販売店または当社お客様センターにご連絡ください。
- レンジフードの使いかた・連動のしかたについては、レンジフードに付属の「取扱説明書」をお読みください。
- レンジフード風量切替を「設定する」にした場合、風量は自動で調節します。変更したいときはレンジフード側の操作部で切り替えてください。
- 風量切替はレンジフード側の運転表示ランプを確認しながら行ってください。
- レンジフード側が常時換気設定時に機器側を停止しても、レンジフードは停止しません。
停止する場合は、レンジフード側で操作してください。

ワンポイント

以下のように操作すると、作動しない場合がありますが、故障ではありません。

- 機器の近くに立ち過ぎている。
 - 赤外線発信部が鍋などでふさがれた状態になっている。
 - テレビ・エアコンなどのリモコンを操作している。
 - 機器・レンジフードに太陽光が当たった状態で操作している。
 - 赤外線発信部およびレンジフード本体の赤外線受信部が汚れている。
- ※連動しにくい場合は、レンジフード側の操作部で操作してください。

手動運転のしかた

① 運転を開始する

レンジフード側の運転スイッチを押す。
風量を設定してください。

② 運転を停止する

レンジフード側の停止スイッチを押す。

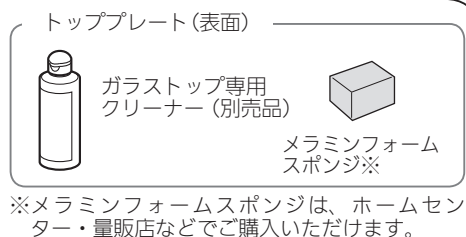
照明の点灯・消灯のしかた

① 照明を点灯・消灯する

レンジフード側の照明スイッチを押す。

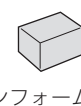
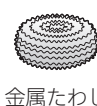
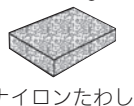
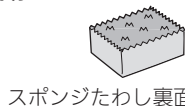
お手入れの道具と洗剤について

使ってよい

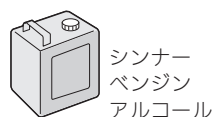
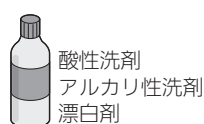


使ってはいけない

傷・はがれの原因となります。



はがれ・表面の変質・変色・さび・割れの原因になります。



故障の原因になります。

- 機器内部に洗剤や蒸気が入ると、電子部品などに付着して、ショート・作動不良・腐食により、故障の原因になります。

直接かけて使ってはいけないもの



引火して火災の原因になります。

絶対使ってはいけないもの



お願い

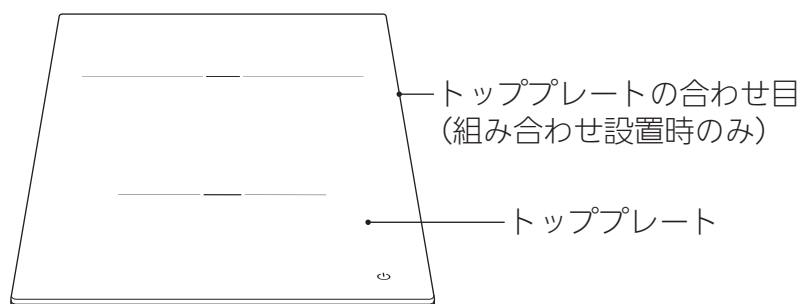
- 当社交換部品・お手入れ品などの販売サイトR.STYLEにて取り扱いをしておりますお手入れ品につきましては、この限りではありません。使用方法・使用箇所を確認してから使用してください。
- 道具や洗剤は目立たない部分で試してから、使用してください。

お手入れの手順

1. 機器が冷めていることを確認する
2. ロックをして、電源を切る 16 ページ
3. 手袋をはめてお手入れを開始する

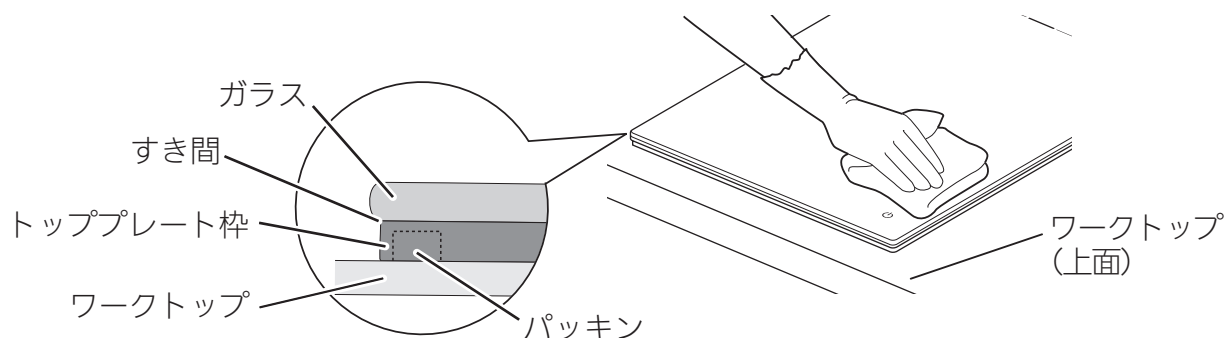
お手入れのしかた

- 汚れたらそのつど、きれいにお手入れをしてください。
- 手袋をしてお手入れをしてください。
- 洗剤は台所用中性洗剤を薄めて使い、お手入れの最後には必ず水ぶきし、乾いた布でふき取り、水気や洗剤を残さないようにしてください。



トッププレート・ トッププレートの合わせ目

- 洗剤を含ませた布で汚れをふき取り、乾いた布で洗剤や水気をふき取ります。
- トッププレートとワークトップとのすき間のお手入れは、歯ブラシなどで汚れを取り除きます。
- ガラスとトッププレート枠のすき間のお手入れは、水を含ませた歯ブラシなどで汚れを湿らせ、キッチンペーパーなどをすき間に差し込み、汚れをふき取ります。



汚れがこびりついたとき

1. キッチンペーパーに洗剤と水を含ませ、汚れた部分を湿らせておく。
2. 汚れが浮いてきたら、やわらかい布でふき取る。

それでも汚れが取れないとき

1. くしゃくしゃにしたラップに別売のガラストップ専用クリーナー 31 ページを塗り、こする。
2. 汚れが取れたら、やわらかい布で水ぶきし、乾いた布で仕上げる。

お願い

- トッププレートの合わせ目は、つまようじなど、かたいもので掃除しないでください。
- トッププレートには、安全に関する注意ラベルが貼り付けてあります。もし、はがれたり、読めなくなった場合は、当社交換部品・お手入れ品などの販売サイト R.STYLE または、お買い上げの販売店にてラベルを購入し、貼り替えてください。 31 ページ

よくあるご質問 (Q&A)

ご質問		こうしてください	参照ページ
電 源	IHヒーターが 使えない	電源が切れていませんか？ 電源スイッチを「ピッ」と鳴るまで1秒以上押してください。	13
		電源を入れた状態で、スイッチ操作しないまま約3分以上、または各種設定の変更（カスタマイズ機能）により、設定した時間以上経過していませんか？ 続けて使用する場合は、再度電源を入れてください。	3・13
		専用ブレーカーが「切」になっていませんか？	—
		電源プラグが抜けていませんか？ または抜けかかっていますか？	—
火 力	使用中に 火力が変わったり、 加熱が停止したりする	フライパンや鍋などをふったり、浮かせて調理していませんか？	3
		鍋などが加熱部からはずれていませんか？ 鍋などがはずれてから約1分以上経過すると、自動で加熱を停止します。 続けて使用する場合は、再度設定し直してください。	2・3
		鍋などの形状や材質が適していますか？	11
		空焼きに近い調理をしていませんか？ 鍋などの温度が高温になると、過熱防止のため自動で火力を切り替えます。	3
		吸・排気口をふさいでいませんか？ ふさいでいるものを取り除いてください。	7
		使用開始から約2時間、または各種設定の変更（カスタマイズ機能）により、設定した時間で切り忘れ防止機能がはたらき、自動で加熱を停止します。	3・21
		操作部に煮こぼれ・水・洗剤・ものなどがのっていませんか？ また、手や指などが触れたままになっていませんか？ このようなときは、スイッチが正常に作動しません。 電源を切り、取り除いた後、再度操作してください。	—
		操作部の過熱防止センサーが作動しました。操作部を覆ってしまうような大きな鍋などを使用した場合、加熱が停止する場合があります。冷めるのを待ってから、再加熱を行ってください。	—
	ブースターに 設定できない	片方のIHヒーターを使用中ではありませんか？ ブースター機能は、前・後IHヒーターを同時には使用できません。 どちらか一方のON/OFFスイッチを「OFF」にしてください。	14
		機器が熱い状態のときは、ブースター機能に設定できない場合があります。	—
	電源を切っても 「Hot」表示が 点灯している	トッププレートが熱い間は、点灯しています。 トッププレートが冷めると、自動で消灯します。	3
操 作 ・ 表 示	ロック機能が 設定できない	ロックスイッチを「ピッ」と鳴るまで約3秒間押していますか？	16
	天面操作できない	操作部に煮こぼれ・水・洗剤・ものなどがのっていませんか？ また、手や指などが触れたままになっていませんか？ このようなときは、スイッチが正常に作動しません。 電源を切り、取り除いてから数秒待った後で再度操作してください。	—
		指に指サックや傷テープ・手袋などをしていますか？ 直接、指を押してください。	—
		操作スイッチを離す前に他のスイッチを押したり、同時に他のスイッチを押したり、押し続けたりするとスイッチが正常に作動しません。	—
		ロック機能を設定していませんか？ ロックを解除した後、再度操作してください。	16

	ご質問	こうしてください	参照ページ
操作・表示	天面操作できない	鍋などが加熱部からはずれていませんか？ 鍋などを加熱部に置いてください。	2・3
		停電などで電源が復帰する場合、操作部に触れていたり、調理器具などがのっけていたりすると、操作できない場合があります。操作できない場合は、電源と専用ブレーカーをいったん「切」にし、1分程度待ってから「入」にし直してください。また、専用ブレーカーを「入」にした後は、5秒程度機器に触れないでください。	—
音	使用中に音がする	鍋などの種類によっては、「ブーン」や「チリチリ」「カチカチ」などの共鳴音がする場合があります（取っ手にわずかな振動を感じることがあります。）が、異常ではありません。 火力を調節するか鍋などの位置を少しずらす、また、鍋などを置き直すと直る場合があります。	—
		調理中に鍋などをはずしたり、置き直したりすると、「チッ」という金属音がすることがありますが、異常ではありません。	—
		前IHヒーターと後IHヒーターを同時に使用すると、鍋などの種類により断続音が気になる場合がありますが、安全のための制御によるもので、異常ではありません。 鍋などを取り替えるか片方のIHヒーターのみを使用してください。	—
	使用中・使用後に機器からファンの回る音がする	使用中・使用後、機器の温度を下げるため、冷却ファンが作動しています。使用後もしばらく冷却ファンが作動している場合がありますが、異常ではありません。	—
	ブザーが数回鳴ったり、鳴り続けたりする	安全機能がはたらいています。 確認してください。	3 29・30
		部品が故障しています。 電源と専用ブレーカーを切り、使用を中止して、お買い上げの販売店または当社お客様センターにご連絡ください。	33
その他	鍋が動いたり、鍋の位置がずれたりする	鍋底やトッププレートに水分や油分が付いたまま使用すると、鍋が滑って動くことがあります。 鍋底やトッププレートの水分や油分を、よくふき取ってから使用してください。	—
		鍋底が変形しているときは、鍋が滑って動くことがあります。 また、鍋底の形が丸いものも、鍋が動く原因となります。 鍋は、適した形状のものを使用してください。	11
	機器の中が赤く見える	室内灯などの光がガラスを透過したときの色です。 異常ではありません。	—
	[IH]クッキングヒーター側の操作でレンジフードが連動しない	[IH]クッキングヒーターの赤外線発信部やレンジフードの赤外線受信部が汚れていたり、直射日光が当たっていたりすると、連動しない場合があります。 [IH]クッキングヒーターの赤外線発信部がさえぎられた状態で操作すると、連動しない場合があります。 レンジフード連動機能が「設定しない」になっていませんか？ 「設定する」にしてください。	1 23・24 1 23・24 21
	[IH]クッキングヒーターを停止してもレンジフードが停止しない	レンジフードタイマーの作動中や常時換気設定時は停止しません。 すぐに停止させたい場合は、レンジフード側の停止スイッチを押してください。	23・24

ブザーが鳴って、こんな表示が出たら


- 表示(数字)は、各IHヒーターのタイマー表示部に点滅表示されます。「Hot」・「0」は点灯表示されます。
- 各IHヒーターの操作部を消灯する場合は、各IHヒーターの  スイッチを押してください。

表 示	ブザー音	内 容	原 因	
Hot	なし	高温注意表示	トッ ププレートが熱くなっています。	
0	ピー 1 回 (約 2 秒)	タイマー終了	設定した時間がたち、自動で加熱が停止しました。	
00	ピー 3 回	切り忘れ防止機能の作動	使用開始から約 2 時間または設定した時間がたち、自動で加熱が停止しました。	
02	ピー 5 回	過熱防止機能の作動	切り忘れによる空焼き・過熱など	
03	ピー 3 回	鍋なし自動停止機能の作動 (調理中に鍋なしを検知した場合)	鍋などがない状態が続いた場合 使えない鍋などを検知した場合	
※ 14	ピー 5 回	操作部の過熱防止機能の作動	過熱防止機能が作動したときなどの異常を検知しました。	
24	ピー 1 回 (約 8 秒)	加熱／火力アップスイッチ  の異常	加熱／火力アップスイッチ  部の異常を検知しました。 (スイッチを押し続けている。)	
※ 31, 32 33, 34	ピー 1 回 (約 8 秒)	温度センサーの故障	部品が故障しています。	
※ 70	ピー 1 回 (約 8 秒)	電子部品の故障	部品が故障しています。	
		電源電圧の異常	単相 200V 以外の電源に接続された場合	
※ 76	ピー 1 回 (約 8 秒)	通信エラー	電子部品の通信が妨げられました。	
		タッチスイッチ操作感度の異常	タッチスイッチ操作感度の異常を検知しました。	

※前IHヒーター・後IHヒーター両方のタイマー表示部に表示されます。



処置と再使用時の注意	参照ページ
<ul style="list-style-type: none"> ●やけどに注意してください。 ●トッププレートが冷めると自動で消灯します。 	1・3 5・27
<ul style="list-style-type: none"> ●電源を切るか、 スイッチを押してください。 	19・20
<ul style="list-style-type: none"> ●電源を切るか、 スイッチを押してください。 ●続けて使用する場合は、再加熱を行ってください。 	3・27
<ul style="list-style-type: none"> ●よくあるご質問（Q & A）「使用中に火力が変わったり、加熱が停止したりする」を確認してください。 ●やけどに注意してください。 ●過熱防止機能がはたらいて加熱が停止した場合（温度センサーが高温のままの状態）は、再加熱操作をしても加熱が停止する場合があります。電源を切り、冷めるのを待ってから、再加熱を行ってください。 	3・27
<ul style="list-style-type: none"> ●よくあるご質問（Q & A）「使用中に火力が変わったり、加熱が停止したりする」を確認してください。 ●電源を切るか、 スイッチを押してください。 	3・27
<ul style="list-style-type: none"> ●操作部の過熱防止機能がはたらいて加熱が停止した場合（温度センサーが高温のままの状態）は、再加熱操作をしても加熱が停止する場合があります。電源を切り、冷めるのを待ってから、再加熱を行ってください。 	3・27
<ul style="list-style-type: none"> ●一度電源を切ってください。 ●操作部の煮こぼれや異物を取り除いてください。 ●再使用時に同じ現象が出る場合は、電源と専用ブレーカーを切り、使用を中止し、お買い上げの販売店または当社お客様センターにご連絡ください。 	27
<ul style="list-style-type: none"> ●一度電源を切ってください。 ●再使用時に同じ現象が出る場合は、電源と専用ブレーカーを切り、使用を中止し、お買い上げの販売店または当社お客様センターにご連絡ください。 	33
<ul style="list-style-type: none"> ●一度電源を切ってください。 ●再使用時に同じ現象が出る場合は、電源と専用ブレーカーを切り、使用を中止し、お買い上げの販売店または当社お客様センターにご連絡ください。 	33
<ul style="list-style-type: none"> ●電源を切るか、 スイッチを押してください。 再使用するときは、周囲の安全を確認してから使用してください。 ●再使用時に同じ現象が出る場合は、電源と専用ブレーカーを切り、1分程度待ってから入れ直してください。その際、機器の上には何も置かず、5秒程度機器に触れないでください。それでも同じ現象が出る場合は電源と専用ブレーカーを切り、使用を中止し、お買い上げの販売店または当社お客様センターにご連絡ください。 	33

ブザーが鳴って、こんな表示が出たら

別売品のご紹介

別売品

- 別売品をお求めの場合は「名称」・「型番」をご確認のうえ、当社交換部品・お手入れ品などの販売サイト R.STYLE (<https://www.rinnai-style.jp/>) または、お買い上げの販売店にてお問い合わせください。

別 売 品	名 称		型 番
	ガラストップ専用クリーナー		—
	スクレーパー S 型 〈推奨品〉※		オルファ社品番 35SB

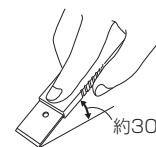
- 2021 年 11 月現在の仕様です。仕様は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。
- 当社のインターネット販売サイト R.STYLE（リンナイススタイル）では、上記以外の交換部品やお手入れ品などを幅広く取り扱っております。



当社製品の交換部品・お手入れ品などをインターネット販売サイトよりご注文いただけます。
<https://www.rinnai-style.jp/>

※スクレーパー S 型 〈推奨品〉について

- トッププレートに傷が付くおそれがありますので、刃が傷んだ場合は、使用しないでください。
- 刃先は鋭利な刃になっていますので、取り扱いには十分に注意してください。
- 使用角度は約 30° で使用してください。
- 当社交換部品・お手入れ品などの販売サイト (<https://www.rinnai-style.jp/>) または、一般の店舗にてお問い合わせください。



長期間使用しない場合／仕様

長期間使用しない場合

- 専用ブレーカーを必ず切ってください。
- お手入れしておくと、次回使用するとき便利です。

仕 様

品名	IH クッキングヒーター		
型式	RHKD321GM1T(A)		
質量	6.5kg		
外形寸法	高さ 84mm ×幅 291mm ×奥行 510mm		
電源	単相 200V 50-60Hz		
消費電力	3200W（待機時消費電力 約1W）		
安全機能	切り忘れ防止機能 高温注意表示 小物検知機能	高温自動温度調節機能 電源オートオフ機能 ロック機能	過熱防止機能 鍋なし自動停止機能
火力調節	前IHヒーター	100 ～ 1200W 9段階+ブースター機能付（1500W）	
	後IHヒーター	100 ～ 2000W 9段階+ブースター機能付（2500W）	
付属品	取扱説明書（保証書付）・設置説明書		

愛情点検 ●長年ご使用のIHクッキングヒーターの点検を！



こんな症状は
ありませんか

- 焦げくさいにおいがする。
- 触れるとビリビリ電気を感ずる。
- トッププレートにひびが発生した。
- その他の異常・故障がある。



ご使用
中止

事故の防止のため、電源を切り、専用
ブレーカーを「切」にし、必ずお買い
上げの販売店または当社お客様センタ
ーに点検・修理をご相談ください。

アフターサービス／廃棄するときは

アフターサービス

保証について

- 取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。
- 保証書の内容のように、一定期間・一定条件のもとに無料修理いたします。
- 保証期間はご購入日から1年間です。
- 必ず、「販売店名・ご購入日」などの記入をお確かめになり、保証書の内容をよくお読みください。保証書を紛失されますと、無料修理期間中であっても修理費をいただく場合がありますので、大切に保管してください。

修理を依頼されるときは

- 万一故障したと思われる場合は、まず「よくあるご質問（Q&A）」「ブザーが鳴って、こんな表示が出たら」P.27～30ページに従い、調べてください。それでも不具合のある場合は、電源と専用ブレーカーを切り、ご購入の販売店または当社お客様センターにご連絡ください。
- ご依頼される際には次のことをご確認ください。
 - ①ご住所・お名前・電話番号
 - ②品名・販売型式・ご購入日
 - ③詳しい故障内容・状況
 - ④訪問ご希望日

補修用性能部品の保有期間

- 製造打ち切り後6年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 保証期間が過ぎていても、修理すれば機能が維持できる場合は、有料で修理いたします。

廃棄するときは

- 機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。もし、お客様で旧機器の処理をする場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取りはずしてから正規の処理を行ってください。

転居されるときは

- 増改築・引っ越しなどでIHクッキングヒーターを取りはずす場合は、専門の技術が必要です。ご購入の販売店にご連絡ください。

連絡先

- ご購入の販売店または当社お客様センターにご連絡ください。

お客様センター ☎ 0120-054321

お客様の個人情報の取り扱いについて

- 当社は、お客様よりお知らせいただいたお客様のお名前・ご住所・電話番号などの個人情報を、サービス活動および安全点検活動のために利用させていただきます。場合がございましたので、ご了承ください。
- 当社は、機器の修理や点検業務を当社の協力会社に依頼する場合、法令に基づく業務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供はいたしません。

IHクッキングヒーター 保証書

この製品は厳密なる品質管理および検査を経てお届けしたものです。
本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。本保証書の適用型式は32ページに記載してあります。

記

- 保証期間は、お買い上げの日から1年間とし、機器本体を対象とします。
保証期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、当社お客様センターにご相談ください。
リンナイ(株) お客様センター フリーダイヤル：0120-054321
- 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 保証についての規定は下記をご覧ください。

無料修理規定

- 取扱説明書・本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店またはもよりの当社窓口が無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。
なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
(イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
(ロ) お買い上げ後の取付場所の移動・落下などによる故障および損傷。
(ハ) 犬・猫・鳥・鼠・くも・ゴキブリなどの小動物や昆虫類の侵入などに起因する不具合。
(ニ) 火災・水害・地震・落雷・その他の天災地変や公害・異常電磁波・異常電圧・異常周波数による故障および損傷。
(ホ) 一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
(ヘ) 本書の提示がない場合。
(ト) 本書にお買い上げ年月日・販売店名の記入のない場合あるいは字句が書き替えられた場合。
(チ) 指定外の電源（電圧）の使用による故障および損傷。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
※この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または当社お客様センターにお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは33ページをご覧ください。

お買い上げ日および販売店名

お客様	ご芳名	販売店	店名	扱者印
	ご住所		住所	
	お買い上げ日 年 月 日		電話番号	

修理記録

年 月 日	修 理 内 容

お客様へ

この保証書をお受け取りになるときに、お買い上げ日・販売店名・扱者印が記入してあることを確認してください。

リンナイ株式会社

〒454-0802 名古屋市中川区福住町2番26号
TEL 代表 052-361-8211

故障・修理・お問い合わせについては

■インターネットでのお問い合わせやお手続き

修理のお申し込み

お問い合わせ・サポート



■お電話でのお問い合わせ

お客様センター

受付時間 平日9:00～18:00 土日祝日9:00～17:00
※年末年始は除く

修理受付時間 365日24時間

フリーダイヤル ☎ 0120-054321

ナビダイヤル ☎ 0570-550258

※携帯電話からの場合（通話料が発生します）



(工場管理)

JS0070-031×01(00)
240200
06000005226980